

設計・計画部門


 う かい こう へい
 鵜飼 浩平

生年月日 1982年9月愛知県生まれ
 最終学歴 2007年神戸大学大学院自然科学研究課建設学専攻修士課程修了

業務経歴 2007年(株)東畑建築事務所入社 現在、名古屋オフィス設計室技師

●担当した主なプロジェクト

2008年 三重交通伊勢営業所
 2010年 大口市立大南小学校
 2011年 大垣市立大垣北幼保園
 2012年 イオンタウン黒崎(基本設計)
 2014年 木曾岬町複合型施設
 2015年 豊田市前林交流館
 2016年 井村屋アイアイタワー
 2016年 高浜町立中央体育館

●受賞歴

2013年 愛知県人にやさしいまちづくり特別賞(大南小学校)
 2014年 内閣府バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰
 内閣特命担当大臣奨励賞(大南小学校)

■青年技術者のことば

一建築の「個性」を問うー
 建築は、設計者の意思や哲学と要望・法規・敷地条件等のコンテキストが交じり合って、その場所に現れるものである。そして、相互関係にあるそれらを、設計者が各々の手法で、カタチにすることこそ、建築の「個性」であると思う。設計者の意思や哲学が介入している以上、いかなる建築であっても、建築の「個性」は存在する。しかし、自動的に諸条件のみで成立する「無個性」な建築が生み出されるようになった時、建築の「個性」の在り方はこれまでは違う様相になるのではないかと考えている。私は、これまで以上に、顧客や利用者との建築の「個性」を共有できる「わかりやすい建築」であることが大切になると考えている。時にそれは綿密な対話かもしれないし、或いはわかりやすいカタチなのかもしれない。いずれにせよ、建築の「個性」を顧客や利用者との共有できることは、建築を豊かに使ってもらえることにつながると考えている。建築の「個性」は、建築の数だけ存在する。だから私は、これまでの設計者像に留まらない形で建築の「個性」を問い続けていきたい。建築の「個性」は人の生活を豊かにすると信じているから。

■すいせん者

瓦田伸幸
 (株)東畑建築事務所
 執行役員 名古屋オフィス代表



大口市立大南小学校

図書館教育を特色とした地域連携の盛んな小学校である。学校の中心にメディアセンターを設け、高い回遊性の中で、様々な交流ができる学校を計画した。ハードの整備と同時に門扉のデザインワークショップや環境学習の授業を行い、子ども達が学校建築を通して様々なことを学べる取り組みを行った。



大垣市立北幼保園

幼保一元化によって集う、様々な子ども達が一体となって過ごせるような「わ」を育む園舎」を計画した。園庭を取り囲む「大きなわ」と保育室を取り囲む「小さなわ」をつくり、2種類の「わ」を活発に動き回る中で、ふれあいが生まれる園舎とした。複雑な形態をBIMによって設計し、空間の細部に渡るまで、「わ」の空間を活かせる様に努めた。



井村屋アイアイタワー

-25°Cの冷凍保管倉庫と、社員食堂の複合施設である。高さ30mの外観は折板のラジアル加工により、屋根と壁が曲面でつながる、企業のイメージが表層化する大きなサインとして計画している。社員食堂は企業の代表的な商品である小豆をかたどった厨房を中心に、三重県産木材を多用した温かみのある空間としている。



高浜町立中央体育館

高台の崖地に囲まれた敷地の中で、低コストの体育館を求められたことから、無駄な空間を徹底的に減らし、体育館に必要な最低限のボリュームの、極めてコンパクトな体育館を実現した。また、落雪防止や採光・通風といった体育館の安全対策・環境装置は体育館の周囲に設けられた高窓部分で全てを充足し、シンプルなカタチを実現している。

